

BUSINESS UNDERSTANDING

株式会社HEROIC

当社事業理解のために

3つの事業で、意思決定・信頼・医療実装の新しい社会基盤をつくる。



法人向け人的資本基盤

MY HEROIC



制度・契約の信頼基盤

Social Structure



先端医療の実装支援

Cell Reprogramming

HEROICは、「個人の生活不安」を企業価値・社会制度・医療支援に 接続する社会OSカンパニーです

HEROICの3つの社会実装事業

1 中核事業 MY HEROIC

社員と家族の生活課題を、AI・専門家
データで行動を促し、企業価値へ
つなげ法人向けプラットフォーム。

 収益の中心 | 利用データ・企業接点を蓄積

2 信頼基盤 Social Structure

任意後見・身元保証など、本人の
意思と家族の安心を支える制度と
契約のデジタルトラスト基盤。

 安心の基盤 | 契約・専門家・本人意思を接続

3 将来成長領域 Cell Reprogramming







生殖医療・再生医療領域で、研究
医療・倫理・データ管理をつなぐ
社会実装支援。

 成長オプション | 医療DX・データ活用へ拡張

HEROICの3事業ポートフォリオ



短期の企業導入、中期の制度基盤化、長期のライフサイエンス拡張を同時に狙う

事業	社会の構造課題	市場ポジション	HEROICの提供価値
 MY HEROIC 企業向けプラットフォーム事業	高齢化・人的資本経営・生活課題の複雑化により、企業は従業員とその家族の私生活起因リスクに十分対応できていない	 顧客接点 使われる入口をつくる	1分Chat、AI整理、専門家接続、匿名集計ダッシュボードにより、生活課題を人的資本・ESGデータへ変換
 Social Structure デジタルトラスト事業	任意後見・身元保証は属人的で、意思確認・信用補完・運用の標準化が不十分	 信頼基盤 制度・信用に広げる	デジタルトラスト基盤により、任意後見・身元保証を安全・標準化・拡張可能な仕組みに再設計
 Cell Reprogramming ライフサイエンス事業	少子化・生殖医療高度化・再生医療進展に対し、研究から社会実装までをつなぐ基盤が不足	 成長領域 中長期の成長機会	セルリプログラミング研究と支援基盤を通じて、生殖医療・再生医療の社会実装を支援

MY HEROIC | 生活課題を人的資本価値へ変換する法人向けプラットフォーム



社員・家族の「迷い」を、1分Chat・AI・専門家・匿名KPIで行動と経営データにつなげる。

福利厚生ではなく、企業が見えなかった社員・家族の生活課題を 人的資本KPI・ESG・ROIへ変換するインフラ

01 社会課題

お金・健康・家庭・相続・キャリアの迷いが、集中力・定着・生産性に影響

02 MY HEROICの解決

1分Chatで入口を軽くし、AI整理から専門家・公的情報へ接続

03 企業に返る価値

個人特定なしの匿名集計で、相談テーマ・行動化・成果を月次KPI化

04 収益化

法人月額を基盤に、AI利用・専門家接続・人的資本レポートで拡張

価値創造の流れ



導入後に見る主要KPI (対象者1人につき)

+30h

可処分時間

+12万円

可処分所得

-100万円

離職コスト削減

収益モデル

● **ストック**

法人月額・導入料

● **従量**

大学研究データ利用・専門家接続

● **拡張**

人的資本レポート/
Social Structure連携

Social Structure | 任意後見・身元保証のデジタルトラスト基盤



本人の意思と家族の安心を、制度・契約・運用の仕組みで支える

属人的な任意後見・身元保証を、安全・標準化・拡張可能な社会インフラへ

1 市場・構造課題



- 単身高齢者の増加で、身元保証・将来契約のニーズが拡大。
- 任意後見・意思表示・契約履行が属人的で、標準化が不十分。
- 金融・医療・行政との連携が複雑で、運用負荷が高い。

2 HEROICの解決策



- デジタルトラスト基盤で、本人意思・契約・保証を一元設計。
- 専門家ネットワークによる制度設計・契約支援。
- 履歴管理・信用補完・運用支援まで伴走。
- 将来的にスマートコントラクト型運用へ拡張可能。

3 収益モデル

初期収益	拡張収益
契約支援・専門家支援	月額管理・履行支援・ スマートコントラクト連携

- ✓ ストック型管理収益と制度運用支援の積み上げが可能

4 事業成長の評価ポイント



1. 高齢化 × 制度DXで
基期需要が見込める



2. 信頼・契約・運用の
基盤化で参入障壁を構築



3. 金融・医療・行政
家族支援へ横展開可能



本人の意思



専門家設計



契約・保証



履行管理

Cell Reprogramming | 生殖医療・再生医療の社会実装支援

研究・医療・倫理・データ管理をつなぎ、先端医療の実装を支える

少子化・医療高度化・研究進展を、社会実装可能な事業機会へ変換する

1 市場・構造課題



- 1 少子化・不妊治療高度化で、生殖医療支援需要が拡大。
- 2 再生医療・細胞初期化の研究進展に対し、社会実装の橋渡しが不足。
- 3 倫理・制度・データ管理が分断され、事業化ハードルが高い。

2 HEROICの解決策



- ✓ セルリプログラミング研究と医療支援を事業基盤化。
- ✓ 医師・研究者・法務・倫理の専門家ネットワークを接続。
- ✓ 医療・研究データの管理と制度対応を支援。
- ✓ 研究から社会実装・事業連携までを横断支援。

3 収益モデル

初期収益	拡張収益
医療・研究支援	データ管理・制度/倫理支援 事業連携

研究連携から医療実装・データ基盤まで収益源を拡張

4 事業成長評価のポイント

長

1. 少子化・先端医療で長期テーマ性が高い

壁

2. 医療・倫理・データを横断する支援が参入障壁

展

3. 研究・医療機関・事業者へ連携が可能

研 基礎研究



医 医療連携



制 倫理・制度



実 社会実装

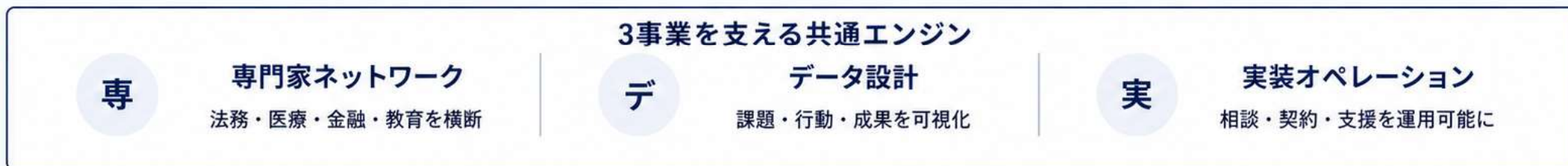
3事業のシナジー

MY HEROICを起点に、信頼基盤と医療支援へ広がるHEROICの成長構造



生活課題 → 制度課題

信頼基盤 → 医療支援



収益モデル：3事業それぞれで収益機会を設計

単一サービス売上ではなく、ストック・従量・連携収益を組み合わせることで伸ばす。

事業	初期収益	拡張収益	伸びる理由
M MY HEROIC	法人月額・導入料	大学研究データ利用、専門家接続、人的資本レポート	企業が社員・家族の課題支援を求める流れ
S Social Structure	契約支援・専門家支援	月額管理、履行支援、スマートコントラクト連携	本人意思・身元保証・将来契約のニーズ拡大
C Cell Reprogramming	医療・研究支援	データ管理、制度・倫理支援、事業連携	先端医療の社会実装に横断支援が必要



3事業の競争優位性

M

MY HEROIC

顧客接点 / 法人向け人的資本基盤

- 生活課題を広く受け止める入口
- AI整理 × 専門家接続 × 匿名KPI化
- 使われるほど接点データが蓄積

競争優位

軽い入口 × 広い支援領域

S

Social Structure

信頼基盤 / 制度・契約のデジタルトラスト

- 任意後見・身元保証を標準化
- 契約・保証・履行管理へ拡張
- 専門家と制度設計を再利用可能

競争優位

信頼領域への実装力

C

Cell Reprogramming

成長領域 / 先端医療の社会実装支援

- 研究・医療・倫理・データを接続
- 専門家ネットワークを医療領域へ展開
- 長期成長テーマを保有

競争優位

先端医療実装の橋渡し

3事業に共通する競争優位の源泉

1

専門家ネットワーク

法務・医療・金融・教育を横断

2

データ設計

課題・行動・成果を可視化

3

実装オペレーション

相談・契約・支援を運用可能に

4

事業間シナジー

接点・信頼・医療へ価値を再利用

比較でわかる優位性

比較軸	従来の福利厚生・EAP	単一領域サービス	HEROIC
入口	不調の顕在化後	特定テーマ発生時	迷い・不安の段階から先行介入
対応範囲	限定的	個別領域ごと	生活課題～制度～医療支援まで横断
支援内容	相談窓口中心	個別ソリューション	AI整理→専門家接続→行動支援
企業価値接続	利用率・満足度止まり	限定的	人的資本KPI・ESG・ROIへ接続
拡張性	横展開しにくい	クロスセルが限定的	3事業連携で収益機会を拡大

成長ロードマップ

MY HEROICの法人導入を起点に、制度DX・医療支援へ段階的に拡張する成長ストーリー



企業価値の積み上がり



成長論点

- 1 入口はMY HEROICでPMFを検証しやすい
- 2 制度DX・医療支援へ横展開できる
- 3 短期・中期・長期の成長テーマを同時保有

役員体制 | 制度・金融・企業導入を進める経営陣

法務・総合商社・金融・証券・事業再生の知見を結集。



取締役会長

永井 峻一

東京大学法学部卒。三菱商事執行役員北海道支社長、サウディ石油化学代表取締役を歴任。現在、シニア総合サポートセンター理事。



代表取締役

野口 慶太

認定司法書士。東京司法書士会会員。現在、都市銀行・上場企業等で専属特定司法書士として実務中。



専務取締役

滝澤 維世嗣

慶應義塾大学経済学部卒。日本債券信用銀行入行。現在、慶應義塾連合三田会常議員、東京銀座ロータリークラブ会員、風月堂代表取締役社長。



常務取締役

池永 威彦

日興証券常務取締役、千葉大学特任教授エクササイズ監査役を歴任。現在、キーラック代表取締役社長。



監査役

原 大二郎

弁護士。中小企業庁経営革新等支援機関認定事業再生実務家協会会員。上場企業役員顧問を歴任。現在、ライジング法律事務所パートナー

専門家ネットワーク | 医療・AI・教育・IRを支えるアドバイザー

3事業の社会実装を支える高度専門人材。



代表監査委員

高瀬 義昌

医学博士。昭和大学客員教授。認知症医療、ITヘルスケア等の領域で要職を歴任。現在、医療法人社団至高会たかせクリニック理事長、日米医学医療交流財団会長、在宅医療政治連盟副会長、未来研究所副理事長。



特別監査委員

小林 美亜

NY大学大学院博士課程修了、学術博士。東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンター副センター長等を歴任し、医療政策・医療の質向上分野で実績。現在、山梨大学大学院総合研究部特任教授。



テクニカルアドバイザー

橋田 浩一

理学博士。産総研、東京大学大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター教授、理化学研究所AIP社会における人工知能研究グループグループディレクター。現在、札幌市立大学AITセンター特任教授。



エデュケーションアドバイザー

沢井 佳子

お茶の水女子大学大学院修了。ひらけボンキッキ、こどもちゃれんじ、しまじろうのわお等の幼児教育・メディア監修・子ども学領域で多数の実績・受賞。現在、チャイルド・ラボ所長、日本マクドナルドハッピーセットの玩具監修、BPO青少年委員会委員。



コーポレートアドバイザー

永井 美保子

米国公認会計士、日本証券アナリスト協会認定アナリスト。資生堂コーポレートコミュニケーション本部長。現在、EdgeBridge代表社員、マミーマートホールディングス社外取締役、シンクロ・フード社外取締役、プロードリーフ社外監査役。

株式会社HEROIC 企業概要



HEROICは、超高齢社会の課題を企業価値へ変換する社会OSカンパニー。

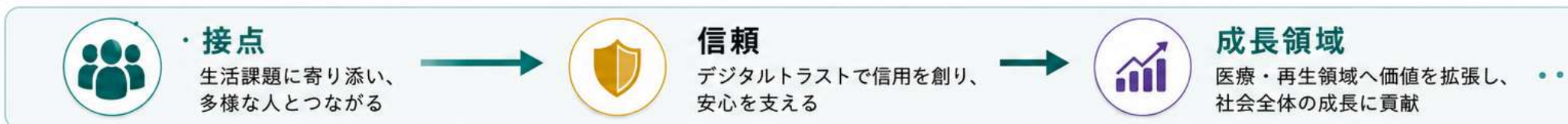
生活課題・契約/信用・医療支援を接続し、社会OSとして価値を循環・拡張します。



会社名 : 株式会社HEROIC (ヒロイック)
設立 : 2020年4月8日
所在地 : 東京都中央区日本橋小網町13-8
安田小網町ビル202

事業内容 : 社会インフラ・プラットフォーム提供事業
ソーシャルプロダクト提供事業

主要サービス / 3事業



3つの事業で価値を積み上げ、社会OSとして価値を循環・拡張します。

<https://heroic.co.jp/>

info@heroic.co.jp

03-3664-8931